

平成 2 7 年度

「運営に関する計画」  
中間評価全体会

平成 2 7 年 1 0 月 3 0 日（金）

大阪市立豊新小学校

## 大阪市立豊新小学校 平成 27 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【視点 学力の向上】</b> ○学習理解度到達診断「しんだん」における国語と算数の正答率 6 割以上の児童の割合を、全学年で前年度割合より増加させる。 (カリキュラム改革関連) ○言語活動の充実を図る授業づくりに向けた 2 年間の研究のまとめを行う。 (カリキュラム改革関連) ○英語教育の強化を図るため、3 年での指導を実施する。 (グローバル化改革関連) ○ICT を効果的に活用した指導法の研究を行い、実践事例を蓄積する。 (グローバル化改革関連) ○文部科学省の委託事業「平成 27 年度自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究事業」の研究指定を受け、校務支援システムを活用して事務作業の効率化を図り、児童に関わる時間を増やす。 (マネジメント改革関連) ○全教員が一人 1 回以上の授業研究を行い、内、3 回は全体研修会を実施する。 (マネジメント改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【区分 個に応じた学習指導】</b> 個別指導やグループ指導、繰り返し指導、習熟度別指導を計画し、基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。 (カリキュラム改革関連) <b>指標</b> 学習理解度到達診断「しんだん」における国語と算数の正答率 6 割以上の児童の割合を、全学年で前年度割合より増加させる。	
<b>取組内容②【区分 言語活動の充実】</b> 2 年継続した研究の 2 年目として、低・中・高学年と児童の発達段階に応じた言語活動の充実を図る授業づくりの研究を行う。 (カリキュラム改革関連) <b>指標</b> 年度末にまとめる 2 年間の研究の検証	B
<b>取組内容③【区分 外国語活動】</b> 英語教育の強化を図るため、3～6 年生において年間指導計画に位置付ける。 (グローバル化改革関連) <b>指標</b> 年間指導計画に基づいて外国語活動の授業を展開する。	B
<b>取組内容④【区分 ICT を活用した教育の推進】</b> ICT の効果的な活用方法について指導方法の研究を行い、既存の機器での実践例を蓄積していく。 (グローバル化改革関連) <b>指標</b> 実技研修会やモデル校の公開授業に参加したり、校内における実践を増やし、校内での情報共有を積極的に行う。	B
<b>取組内容⑤【区分 教育活動のための時間の確保】</b> 文部科学省の委託事業「平成 27 年度自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究事業」の研究指定を受け、校務支援システムを活用して事務作業の効率化を図り、児童に関わる時間を増やす。 (マネジメント改革関連) <b>指標</b> 調査結果をまとめ、報告するとともに、学校ホームページ等で公表をする。	

<p>取組内容⑥【区分 授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p>	B
<p>指標 全教員が一人1回以上の研究授業を行い、内、3回は全体研修会を行う。</p>	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>①3学期に実施する学習理解度到達診断「しんだん」の結果で評価する。</p> <p>②校内研修を計画通り実施できており、検討・討議を通して授業力向上ができつつある。</p> <p>③3～6年生において計画通り英語学習が行われている。</p> <p>④校内外においてICTの効果的な活用方法の研修を行ってきたが、指導方法の研修を深めていく必要がある。</p> <p>⑤校務支援システム校内研修会を2回実施した。今後も研修会を実施して調査結果をまとめ評価する予定である。</p> <p>⑥計画に基づいて、授業研究や研修会が行われている。</p>	

年度目標	達成 状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○自他ともに認めあい、思いやりのある児童を育成するために、ゲストティーチャー派遣事業により、「いのちと性」の教育事業、「子どものストレスマネジメント」の教育事業、「子どもの情報教育」の事業を実施する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事を実施する。</p> <p>○避難訓練（防災教育）を毎学期に実施し、また高学年においては安全（防犯）教育も実施する。 (グローバル化改革関連)</p> <p>○問題行動（生活指導）対応、いじめに関する研修を実施する。 (マネジメント改革関連)</p> <p>○産業界等と連携し、ゲストティーチャーを招いての職業講話を高学年に実施する。 (学校サポート改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【区分 道徳教育と人権教育の推進】</p> <p>道徳の授業の年間標準授業時間を確保するとともに、人権に関する指導内容の充実を図る。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。</p>	B
<p>取組内容②【区分 規範意識の育成】</p> <p>社会や集団生活でのルールを守ることを日常的に全教職員で指導する。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【区分 自尊感情と思いやりの心】</p> <p>ゲストティーチャー派遣事業により、「いのちと性」の教育事業、「子どものストレスマネジメント」の教育事業、「子どもの情報教育」の事業を実施し、自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を育成する。 (カリキュラム改革)</p> <p>指標 6年生を対象に、「いのちと性」の教育事業、子どものストレスマネジメント教育事業、子どもの情報教育事業を各 1 回ずつ実施する。</p>	
<p>取組内容④【区分 心豊かな子どもの育成】</p> <p>芸術鑑賞行事を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 年間計画に従い、芸術鑑賞行事を実施する。</p>	C

取組内容⑤【区分 防災教育の推進】 災害についての正しい知識と的確な判断力を身につけ、非常時には正しい判断力を持って適切に行動できるように指導する。 (グローバル化改革関連)	B
指標 各種の想定に対応した避難訓練(防災訓練)を毎学期に実施する。	
取組内容⑥【区分 防犯教育の推進】 日常生活における犯罪被害の現状及び防止方法について理解を深め、自ら危険を回避し安全に行動するための安全教育を実施する。 (グローバル化改革関連)	B
指標 5・6年生において実施する。	
取組内容⑦【区分 問題行動への対応】 日頃より問題行動及びいじめを許さない集団の育成に取り組むとともに、事案発生時には、関係諸機関とも連携しながら早期解決に努める。 (マネジメント改革関連)	B
指標 問題行動(生活指導)対応、いじめに関する研修を実施する。	
取組内容⑧【区分 キャリア教育の推進】 児童の発達段階に合わせ、系統立てたキャリア教育を実施する。 (学校サポート改革関連)	B
指標 産業界等と連携し、ゲストティーチャーを招いての職業講話を高学年に実施する。	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>①学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合は91%で、目標の数値を上回っている。年間通して道徳の標準授業時数を確保していきたい。</p> <p>②学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合は95%で、目標を大きく上回っている。今後も問題行動、いじめを許さない集団作りを常に意識し、日々指導をしていく。</p> <p>③日程調整中で、今後実施していく。</p> <p>④芸術鑑賞行事は今後計画して、実施していく。</p> <p>⑤避難訓練を毎学期実施できた。今後も安全教育を計画に沿って実施していく。</p> <p>⑥5・6年生で、非行防止教室を今後予定している。</p> <p>⑦「大阪市いじめ対策基本方針」の説明会后、研修を実施する。</p> <p>⑧11月に6年生で、「キャリア教育」を実施する。</p>	

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○昨年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全国平均を下回っている「20mシャトルラン」、「立ち幅跳び」及び「反復横跳び」の結果をふまえ、体力増進を図る。秋の調査結果が春の調査結果より上回る。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を70%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校アンケートによる「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○毎月1回安全点検日を設け、修理・補修の必要な個所の実態を把握し、早期に改善を行う。(マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 体力向上への支援】</p> <p>体育の授業において、敏捷性や持久力、跳躍力のアップを目指す取組をする。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「20mシャトルラン」、「立ち幅跳び」及び「反復横跳び」の結果を春より秋の調査結果で上回る。</p>	
<p>取組内容②【区分 体育科授業の充実】</p> <p>運動やスポーツに興味・関心が高まり、楽しみながら取り組めるような授業づくりを工夫する。 (カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標 学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【区分 健康な生活習慣の確立】</p> <p>保健指導や手洗い・うがい強調週間等を通して、児童が手洗いの習慣を身につけられるよう指導する。 (カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標 学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【区分 食育】</p> <p>給食週間や栄養指導を通して、食への関心を高める指導を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標 学校アンケートにおける「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。</p> <p>また、給食日誌における残食率の平均を5%以下にする。</p>	
<p>取組内容⑤【区分 教育環境の整備】</p> <p>安全な学習環境の整備に向けて日頃より全教職員で取り組む。</p>	B

(マネジメント改革関連)	
指標	毎月1回安全点検日を設け、修理・補修の必要な個所の実態を把握し、早期に改善を行う。
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 今後も敏捷性や持久力、跳躍力のアップする指導法を考え、個々の体力向上を図る。秋の運動能力については、後日実施予定。</p> <p>② 学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合が86%で、目標の数値を大きく上回っている。今後もなわとび週間・かけ足週間等を実施し、運動に楽しみながら取り組んでいけるように継続指導していく。</p> <p>③ 学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合が91%で、目標の数値を上回っている。また、強調週間では手洗い・うがいの大切さを、よりきめ細やかに指導した。児童が手洗い・うがいの習慣を身につけられるように今後も指導していく。</p> <p>④ 学校アンケートにおける「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合が94%で、目標の数値を大きく上回っている。また、給食日誌における残食率の平均も1.1%で、目標を大きく下回った。栄養指導や日々の声掛けで、食への関心を持つ児童が増え、残菜も減ってきている。今後も継続指導していく。</p> <p>⑤ 毎月一回の安全点検日を設けているので、修理・補修の必要な個所の実態を把握し、早期に改善できている。今後も全教職員で学校環境の整備をしていく。</p>	

平成27年度 給食 残食率（％）

4月9日～10月21日

	主 菜	副 菜	果 物 デザート	米 飯	パ ン	牛 乳
平 均	0.2	0.6	0.3	2.1	3.7	1.2

総平均	1.1
-----	-----

年度目標	達成 状況
<b>【視点 特別支援教育の充実】</b> ○障がいのある全ての子どもの「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、 個別の指導計画に基づき指導する。 (カリキュラム改革関連) ○障がいのある子と通常学級の子どもの交流および共同学習を推進する。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【区分 特別支援教育の充実】 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、一人一人のニーズに応じて見直しを学期ごとに行う。 (カリキュラム改革関連)		B
指標 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づいた指導を行う。		
取組内容②【区分 特別支援教育の充実】 支援を必要とする子どもについて全教職員で共通理解を図る。 (マネジメント改革関連)		B
指標 特別支援教育に関する研修会を学期に1回実施する。		
取組内容③【区分 特別支援教育の充実】 教育活動全体を通じて、多様性を尊重する活動や実践を学期に1回行う。 (カリキュラム改革関連)		A
指標 学校アンケートにおける「友達にはみんなよいところがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。		
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
①「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づいた指導を行っている。今後も児童のニーズによって丁寧に指導していく。		
②特別支援教育研修会を1学期には6月に実施した。2学期は11月に予定しており支援の必要な児童にたいしての共通理解が図られた。		
③発達段階に応じ、友だちのよさに気づくための活動や実践が工夫され、学校アンケートにおける「友達にはみんなよいところがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合が98%で目標を大きく上回った。		